

SDGs^{しんぶん}新聞

アイエムブイ かぶしきがいしゃ
IMV株式会社

地震の大きさってどうやって決まるの？

☒ SDGsラジオを^よ読んでみよう！

「今の地震、大きかったね!」と話したことはありませんか?では、その地震の「大きさ」は、どうやって決まるのでしょうか?

じつ　にほんじゅう　じしんけい　じめん　かん　すうち
 実は、日本中にある「地震計」が地面のゆれを感じとって、いろいろな数値をはかっているんですよ。

それをもとに、「震度」や「マグニチュード」という、地震の大きさを表す数字が計算されます。

そんな地震計をつくっているのが、いろんなゆれをはかる会社「IMV株式会社」です。

じしんけい きろく つよ たてもの つか しょうらい じしん やくだ
地震計が記録したデータは、強いゆれでもこわれない建物をつくるときに使われたり、将来の地震へのそなえにも役立ちます。

さらに、IMVがつくっている「^{せいぎょようじしんけい}制御用地震計」という装置は、^{そうち}

じしん　お　　　　　でんき　　　　　すいどう　あんぜん　と　　　　　まも
地震が起きたときに電気やガス、水道を安全に止めて、くらしを守ってくれるんですよ。

じしんけい みらい まも たいせつ どうぐ
地震計は未来を守るための大切な道具です。

いつ起きるか分からない地震。まずは、地震のことをよく知ることが大切です。調べてみましょう。

☒ SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



がぞうさんしょう じしん お
画像参照：地震が起きたときのイメージイラスト

地震の大きさをあらわす「震度」や「マグニチュード」は、「地震計」という機械

ではかることができます。地震計は、地面のゆれを感じ取って、その強さや時間、ゆれる方向などを正確に記録します。この地震計は日本のあちこちに

り、それぞれが集めたデータをもとに、専門家が地震の大きさを計算しています。こうしてわかった情報は、地震のしくみを学んだり、地震に強い街づくりを
考えたりするために使われます。地震計は、ゆれを「見えるかたち」にして、私た
ちの安全を守る大切な道具です。



画像参照：IMVの地震計(IMV株式会社HPより)

こうした地震計をつくっているのが「IMV株式会社」です。IMVの「制御用
地震計」は、地震を感じるとすぐに反応し、電気やガス、水道などを自動で
止めます。これによって、火事やガスもれなどの二次被害をふせぎます。ま
た、地震計で集めたデータは、建物の安全を調べたり、地震に強い設計を
研究したりするためにも使われています。IMVの地震計は、日本だけでなく
世界でも使われていて、さまざまな国で災害に強い社会をつくるために
役立っています。地震を正しくはかることは、未来の安心につながります。

☒ キーワード

しんど
震度

じしん つよ すうじ
地震のときに「どれくらい強くゆれたか」をあらわす数字です。

マグニチュード

ちきゅう なか おお ちから じしん お すうじ
地球の中で「どれくらい大きな力がはたらいて地震が起きたか」をあらわす数字です。

じしんけい
地震計

地面のゆれを感じ取り、強さや時間を記録する機械です。地震の研究や防災に使われます。

☒ たいしょう 対象ゴール



みなさんにできること！

まずは地震とはなにか、地震が起きるとどうなるかを調べてみましょう。

おさらい

- 「地震計」は、地面のゆれを感じ取り、地震の大きさを調べる機械。
- IMV株式会社は、安全を守るための地震計を開発している。
- 「制御用地震計」は、地震が起きたときに電気やガスを止めて人々のくらしを守る。

メモ



SDGs ラジオ